

日本珪藻学会第44回大会（文教大学・東京）プログラム

期 日：2023年5月13日（土）・14日（日）

会 場：文教大学東京あだちキャンパス 東京都足立区花畑5-6-1 教育研究棟2階（講義室北棟2階）

学会会長：大塚泰介

大会会長：出井雅彦

第1日 5月13日（土）

12:30 受付開始

13:00 開会 学会会長・大会会長挨拶

《 口頭発表 1 》

【座長 真山茂樹】

- 13:05 O-01 本邦産ミズタケチビルケイソウ *Cymbella janischii* の細胞サイズと福井県内の分布把握
● 麦倉佳奈（福井県大・院・生物資源），洲澤讓（（有）河川生物研究所），佐藤晋也（福井県大・海洋生物資源）
- 13:20 O-02 DNA metabarcoding of *Cymbella janischii* mats yields insights into specific diatom and bacteria associated with its distribution, bloom formation and potential threat in Japan's aquatic ecosystems
● Eldrin DLR. Arguelles, Kana Mugikura (Graduate School of Fukui Prefectural University), Shinya Sato (Fukui Prefectural University)
- 13:35 O-03 ミズタケチビルケイソウ *Cymbella janischii* の活用方法の探索
● 三上大智, Eldrin DLR. Arguelles (福井県大・院・生物資源), 佐藤晋也 (福井県大・海洋生物資源)
- 13:50 O-04 Etching of diatom frustules via digital holographic microscopy
● Maria Christine Lugo, Yuki Ide, Masaki Kitamura, Shinji Koide, Makoto Saito (Tokyo University of Science), Shigeki Mayama (Tokyo Diatomology Laboratory), Kazuo Umemura (Tokyo University of Science)
- 14:05 O-05 Enhanced enzyme activity of a micron-sized enzyme device fabricated with diatom frustules
● Nay San Lin, Kota Hirayama, Masaki Kitamura, Shinji Koide (Tokyo University of Science), Shigeki Mayama (Tokyo Diatomology Lab), Kazuo Umemura (Tokyo University of Science)
- 14:20 O-06 紅藻ソノ類とヤナギノ類上に特異的に生育する *Falcula* 属未記載種の生態および遺伝的多様性
● 菅原一輝, 鈴木秀和, 神谷充伸 (海洋大・院・藻類), 長田敬五 (日歯大・新潟・生物)
- 14:35 休憩

【座長 佐藤晋也】

《 ポスター発表 》

【座長 鈴木秀和】

- 15:00 P-01 琵琶湖南湖における過去30年間の珪藻群集変化と湖内環境変化
● 正木紫苑（滋賀県立大学），大塚泰介（琵琶湖博物館），堂満華子（滋賀県立大），里口保文，林竜馬（琵琶湖博物館），廣瀬孝太郎（兵庫県立大学）
- P-02 福井県小浜湾における *Pseudo-nitzschia* 出現動態の解明
● 中地智里（福井県大・院・生物資源），佐藤晋也（福井県大・海洋生物資源）
- P-03 牟田川（福岡県新宮町）の護岸上に出現した珪藻
○ 天田啓（福岡工大）
- P-04 阿寒湖産 *Epithemia* 属珪藻の分類と塩分適応範囲
○ 千葉崇（酪農大・環境共生），堀江好文（神戸大・海事），辻彰洋（科博・植物）
- P-05 Invitation to IDS and Young ISDR
Shinya Sato (Fukui Prefectural University)

《 口頭発表 2 》

【座長 天田 啓】

- 15:45 O-07 日本からの *Achnanthydium catenatum* の出現報告
 ○大塚泰介, 根来健, 井上晴絵(琵琶湖博物館), 小倉謙一(岡山市水道局), 草間雄大(フィスコ), 辻彰洋(国立科学博物館)
- 16:00 O-08 阿寒湖産汽水生珪藻の移入種としての可能性
 ○千葉崇, 長田涼介(酪農大・環境共生), 尾山洋一(釧路市教委), 辻彰洋(科博), 長井雅史(防災科研), 金丸龍夫(日本大学) 【座長 辻彰洋】
- 16:15 O-09 ミズワタクチビルケイソウ *Cymbella janischii* の理解に向けた分野横断的研究
 ○佐藤晋也(福井県大・海洋生物資源), Eldrin DLR. Arguelles, 三上大智, 麦倉佳奈(福井県大・院・生物資源)
- 16:30 O-10 琵琶湖におけるスズキケイソウの周年変化
 ○齋藤めぐみ(科博), 松岡数充(シードバンク, 長崎大学), 石井健一郎, 谷村文, 加山基(シードバンク)
- 17:00 総会
 18:00 懇親会

第2日 5月14日(日)

《 口頭発表 3 》

【座長 岩井雅夫】

- 9:30 O-11 水鳥の羽毛に対する海産珪藻の付着量の推定
 ●吉岡夢生, 鈴木秀和, 神谷充伸(海洋大・藻類), 綿貫豊(北大・資源生態)
- 9:45 O-12 タイドプールに生育する基質海藻間の付着珪藻相の相違
 ●岡本俊哉, 神谷充伸, 鈴木秀和(海洋大・藻類) 【座長 豊田健介】
- 10:00 O-13 北海道東部の汽水域における海草上付着珪藻相
 ●吉儀彰太郎, 神谷充伸, 鈴木秀和(海洋大・藻類)
- 10:15 O-14 潮間帯上部における基質藻類と珪藻群集構造の関係
 ●山中琢翔, 神谷充伸, 鈴木秀和(海洋大・藻類)
- 10:30 O-15 海産付着珪藻 *Gomphonemopsis novo-zelandicum* の形態
 ●吉永森羅, 鈴木秀和, 神谷充伸(海洋大・藻類), 長田敬五(日歯大・新潟・生物)
- 10:45 休憩・写真撮影

《 口頭発表 4 》

【座長 千葉崇】

- 11:15 O-16 滋賀県犬上郡多賀町四手産の珪藻化石に基づく古環境
 ●富小由紀(たんさいぼうの会, 滋賀県立大学), 堂満華子(滋賀県立大学), 大塚泰介, 林竜馬, 里口保文(琵琶湖博物館), 多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト
- 11:30 O-17 関東平野の第四系における *Pseudopodosira kosugii* の産出層準
 納谷友規(産総研・地質情報)
- 11:45 O-18 アムンゼン海鮮新統の珪藻化石と南極氷床発達史:IODP Site U1532
 ○岩井雅夫(高知大), IODP Exp.379 Scientists 【座長 齋藤めぐみ】
- 12:00 O-19 PCNA 抗体による付着珪藻の分裂速度推定
 辻彰洋(科博・植物)
- 12:15 O-20 珪藻の遊離点をひもとく
 ○真山茂樹, 真山なぎさ(東京珪学研)

12:30 最優秀発表賞表彰(発表者左肩の●は選考対象者、○は一般発表)

12:40 閉会 学会会長・研究集会実行委員長挨拶